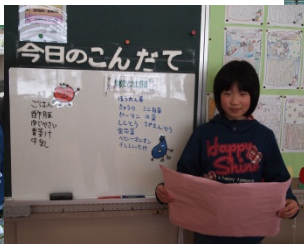


寒河江市立田代小学校（山形県寒河江市）

～栽培から販売まで、地域と一体となった地産地消・食育の取組を推進～

代表者: 学校長 軽部 賢
所在地: 山形県寒河江市
構成員: 児童12名、教職員10名
活動開始年: 昭和47年



表彰理由

明治11年に設置された田代小学校では、地域産業の中心である農業を教育活動に取り入れたいとの思いから、昭和47年から「畑の活動」(農業体験)の取組を開始。

学校の畑の他、学校隣接地の農地も借り受け、グリーンキーパー(婦人会の会員や児童の保護者)による指導のもと、60種類もの野菜を栽培。無人販売所の設置・販売、駅前自由市場への出店を通じ、児童と消費者との交流を図るなど、地域と連携した活動を実施している。また、栽培した野菜を学校給食で活用するだけでなく、家族と一緒に作った地場農産物を使った自慢料理を、給食の特別メニューとして取り入れることなどにより、自然の恵みや地域の人々への感謝の気持ちが醸成されるなど、生きた食育学習の機会をつくっている。

小規模校の特長を活かし、児童、教職員だけでなく家庭や地域と一体となった取組は、地域の地産地消活動の広がりにつながり、地域における食や農への意識向上へと結びつき、地域農業の振興が図られ、評価できる。

取組内容

1. 「畑の活動」

○学校の畑を利用し野菜等の栽培を行う「畑の活動」は、昭和47年から学校教育課程に位置づけられ、現在も活動を継続。学校隣接地にある個人の農地も借り受け、グリーンキーパーによる栽培指導を受けるなど、地域との連携を図り、60種類の野菜を栽培。「1人1作物栽培」等にも取り組んでいる。

2. 無人販売所や「ちえりーマルシェ」への出店

○「畑の活動」により収穫した野菜を、学校前に設置した無人販売所で販売するほか、駅前自由市場「ちえりーマルシェ」へ出店し、消費者との交流の機会を持ちながら販売を行っている。

3. 栽培した野菜を学校給食へ活用

○栽培した野菜を学校給食で活用している。また、夏休み中に家族と一緒に作った、地場農産物を使ったメニューを『「我が家の夏野菜を使った自慢料理」紹介』として持ち寄り、給食の特別メニューとして提供している。

4. 地域と連携した取組

○県内のシンガーソングライターと連携した食と地域を題材とした歌作りや、「畑の活動」でお世話になった人々に感謝する「すくすくファーム感謝祭」を開催し、地域住民、JA、企業などとの交流を行っている。

5. 栽培から販売、学校給食等の活動を通じた食育の実践と地域への貢献

○活動を通じ、自然の恵みや地域の人々への感謝の気持ちの醸成、栽培から調理方法、販売までを体験することで、生きた食育学習の機会となっている。